

臨時總會議事録

平成 29 年度 第 1 回 SGST 臨時總會 議事録

日時：平成 29 年 11 月 24 日 9:30～9:50

場所：名城大学 大冢校舎 研究実験棟Ⅱ 多目的室

出席者：安藤(浩)，大塚・西嶋【宇野重工】，岡本【橋梁調査会】，小畑【名工大】，
加藤(正)【中日本II】，王・高・川瀬【日中C】，神高・陳【サンワ構造システム】，
松村・櫻井・高橋【瀧上】，土橋【横河ブリッジ】，野末【バルステック】，
水谷【JFEエンジ】，村瀬・中村・松崎【日車】

以上 20 名(敬称略)

第 1 号議案 新規研究委員会の発足について

- ① 新規研究委員会名称
最新技術活用調査研究委員会
- ② 活動期間
平成 29 年 1 月 1 月～平成 31 年 1 0 月
- ③ 概算費用
5 0 万円／年
- ④ 活動内容
別紙参照

第 1 号議案について、臨時總會出席者の過半数の承認が得られた

第 2 号議案 幹事の変更について

事務局担当幹事の変更

(旧) 中村 信哉 (日本車輛製造株式会社)

(新) 松崎 郁弥 (日本車輛製造株式会社)

変更日

平成 29 年 1 2 月 1 日

第 2 号議案について、臨時總會出席者の過半数の承認が得られた

以 上

平成 29年 10月 1日

東海構造研究グループ代表
小畑 誠 殿

SGST 研究委員会 起案書

起案者氏名 木下 幸治
所属機関 岐阜大学

下記の通り、SGST 研究委員会を立ち上げたく、起案書を提出します。

研究委員会名： 最新技術活用調査研究委員会

研究趣旨：

我が国の社会資本ストックは高度経済成長期に集中的に整備され、今後急速に高齢化する。社会資本の維持管理・更新は、国のみならず、社会資本の大部分を管理している地方公共団体を含めた、我が国全体の大きな問題となっている。今までの技術開発では新設に力点を置いてきたが、今後は保全・診断を含めたより効率的・効果的な維持管理・更新のための技術開発についても積極的に行い、得られた成果の基準化、標準化、活用を推進することの重要性が強調されている。

最新技術・情報調査研究委員会において「橋梁を守っていくための技術」を研究してきた。研究の中で様々な「技術的な課題」があることを認識している。「最新技術活用調査研究委員会」では、さらに、橋梁を守っていくための技術について、現状での取り組みや、その課題と解決策、その効果の関連等について議論することで道路メンテナンス総力戦のために、「産」「官」「学」の知恵を集結するための研究を行う予定である。また、社会資本は日々使う基本的インフラであるため市民の関心も深くなっている。今回は、「民」との協働も視野にいれて研究を行いたいと考えている。

対象は、30代以上のSGST中堅技術者以上（20代も歓迎）とする。気軽に参加できる情報交換会をめざす。

本委員会の成果はSGST報告書作成を考えている。新技術・新工法は、今後より積極的・継続的に開発や活用が進むことが予想されるが、本研究委員会では時間・費用とも制約があるため、研究成果は明確な結論が出なくても、今後の研究の端緒になればよいと考えている。

無断掲載禁止に関するお願い

本誌に掲載する内容の全て又は一部をいかなる手段においても無断で複製・転載・流用・転売・複写等することを固く禁じます。